2019年度及び2022年度SDGS未来都市における次期計画策定の進め方(案)

経緯

- ▶ 2022年度SDGs未来都市においては、2022年度~2024年度の3年間の「SDGs未来都市計画」(以下「計画」という)を策定し計画を推進しているが、2024年度に計画期間が終了する。
- ▶ また、2019年度SDGs未来都市においては、2022年度~2024年度の3年間の第2期「SDGs未来都市計画」(以下「第2期計画」という)を策定し計画を推進しているが、2024年度に計画期間が終了する。
- ▶ 第61回自治体SDGs推進評価・調査検討会(以下「検討会」という)において、第2期以降のSDGs未来都市計画の策定については、各SDGs未来都市の判断に委ねることが確認された。

第2期計画策定の流れ

- ▶ 2019年度未来都市31都市及び2022年度SDGs未来都市30都市は、国とも連携しながら2025年度から原則3年間の計画を策定するか、判断する。
- ▶ 計画策定をする都市にあたっては、以下の流れで進めるものとする。
 - ①各都市により、検討会から示された「進捗評価を踏まえた委員のコメント」を踏まえた計画素案の策定
 - ②各都市から提出された計画素案について、更なる具体化や精緻化に向け、検討会・タスクフォース(以下「TF」という) からの意見を収集
 - ③各都市にて検討会・TFからの意見を踏まえて計画素案を修正し、計画を策定

第2期計画改定スケジュール(予定)

